

## 別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 倉敷繊維加工株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 541-0056 大阪市中央区久太郎町2丁目4番31号	
本票作成	部署名：早島工場 総務課				
主たる業種	分類コード	11	業種名：繊維工業		
事業の概要	不織布、ニット製品の製造・販売・開発、補強ネットの製造 (生産量 不織布 3,899.5t ニット製品 120.7t 補強ネット 1,062.1t) (従業員 早島工場 79名 倉敷工場 120名)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	倉敷繊維加工株式会社 早島工場		岡山県都窪郡早島町早島2026	
	②	倉敷繊維加工株式会社 倉敷工場		岡山県倉敷市下庄1138-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 30 年度)	(令和 元 )年度排出量	目標年度(令和 3 年度)
	7,810 t CO <sub>2</sub>	6,005 t CO <sub>2</sub>	7,578 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 元 )年度排出量
	①	倉敷繊維加工株式会社 早島工場	3,851 t CO <sub>2</sub>
	②	倉敷繊維加工株式会社 倉敷工場	2,154 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和 元 年度	～	令和 3 年度	( 3 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 元 )年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	18.9 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量 5,082.3t	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 元 )年度	目標年度
		1.458 t CO <sub>2</sub> /( t )	1.182 t CO <sub>2</sub> /( t )	1.414 t CO <sub>2</sub> /( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 元 年度)	達成率等

## 【削減状況の自己評価】

昨年度は契約電力会社の変更により排出係数が下がったことが大きく影響したため、CO<sub>2</sub>排出量も大幅に削減された。  
大幅削減により今後の達成が厳しくなってくるが、省エネ、環境設備の点検、改良を継続的に行いCO<sub>2</sub>排出削減に努めていく。

**【推進体制】**

ISO14001 2015版認証継続 早島工場3グループ、倉敷工場4グループで運営  
各グループごとに目的・目標を定め四半期に最低1回は環境委員会を実施し、環境活動を行っている。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
倉敷工場・早島工場	<p>(令和元年度実施分)</p> <p>&lt;倉敷工場&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド警報時、一斉放送による対応速度アップで0.2t-CO2/年削減&lt;継続&gt;</li> </ul> <p>&lt;早島工場&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプレッサー22KW更新</li> <li>・生産機台からの蒸気ドレン(100℃)回収&lt;継続&gt;</li> </ul> <p>&lt;共通&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場内エア漏れの定期調査によるコンプレッサー負荷軽減&lt;継続&gt;</li> <li>・ボイラードレン回収タンク更新によるエネルギー使用量の削減</li> <li>・場内一部LED化により22t-CO2/年削減</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <p>&lt;倉敷工場&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED化により2t-CO2/年削減見込み</li> <li>・生産使用設備変更によるエネルギー使用量の削減</li> <li>・コンプレッサー効率的運用による負荷低減</li> </ul> <p>&lt;早島工場&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドレン回収装置更新による390t-CO2/年削減見込み</li> <li>・ドレントラップ、ドレン配管順次更新</li> <li>・場内LED化により2t-CO2/年以上削減見込み</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**